

指 定 管 理 業 務 評 価 結 果 書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	倉敷市水島障がい者支援センター
(2) 指定管理者	所在地 倉敷市笹沖 1 8 0 番地 名 称 社会福祉法人 倉敷市総合福祉事業団 代表者 理事長 藤 澤 徳 久
(3) 公の施設の所管部署	倉敷市保健福祉局社会福祉部 障がい福祉課
(4) 評価対象期間	令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 3 1 日まで

2 総合評価結果

(1) 市の評価	今年度は、「地域に根差した取り組みができて いるか」を重視して評価した。 廃品回収、周辺清掃や雛めぐりへの協力、はば たきふれあい祭りの開催等、地域とよく関わって いる。 祭りには、中高生のボランティアも参加してお り、これからの地域づくりを担っていく世代と交 流している点は、評価できる。	総合評価
		S
(2) 指定管理者の自己評価	今年度は「地域に根差した取り組みができて いるか」に重点をおき評価を行った。 ・施設の利用者数については、カラオケ等のサロン事業をコロ ナ禍前のように再開しており、順調に回復してきている。 ・利用者の意見・要望を聞いて、簡単クッキングやカラオケ大 会などを開催して好評を得ている。 ・遠出をする機会が少ない障がい者にとっては年に 1 度のバス 旅行の関心は高く、バスの中でカラオケなどを楽しく行い、怪 我・事故も無く実施できた。今後、実施方法や利用者負担のよ り適正なあり方について検討する。 ・地域交流を目的とする「はばたきふれあい祭り」を開催して 昨年より多くの地域・関係事業所の方々に来ていただいた。 中・高生のボランティアにも来てもらい、障がい者とのふれあ いを経験して、障がいに対する理解を深められた。 ・地元町内会の総会・役員会・研修会での利用や「水島雛めぐ り実行委員会」など地域参加型のイベントに貸館を行うこと で、地域の施設であることの P R が進んだ。	

(3) アンケート結果の概要	・回答した利用者の９９％がセンター管理運営について、全体として、満足又はおおむね満足との結果であった。 ・みんなで歌うわいわいカラオケ・バス旅行・クッキングなどの行事を利用者の要望に応じて実施した。今後も感染対策をして行事の充実を図っていく。 ・アンケート結果については別紙のとおり。
----------------	--

３ 施設の利用状況

(1) 利用実績					
			今年度	前年度	特記事項（前年比）
	施設利用者		13,660 人	12,537 人	109%
	相談支援	面接相談	2,421 件	2,744 件	88%
		電話相談	2,112 件	2,243 件	94%
		家庭訪問	269 件	297 件	91%
		同行	62 件	55 件	113%
		ケア会議	96 件	98 件	98%
相談支援合計		4,960 件	5,437 件	91%	
(2) 事業の内容	(1) 日常生活支援				
	(2) 在宅福祉サービスの利用援助				
	(3) 相談・情報提供				
	(4) 特定相談支援事業及び障害児相談支援事業				
	(5) 地域交流・啓発活動				
	(6) 障がい者及びその家族等の地域生活の支援				

４ 収支（水島）

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	３９,１６８千円		
	市からの指定管理料（委託料）		３７,０９２千円	
	利用料金		１,３５７千円	
	認定調査業務委託料		４１４千円	
	個別避難計画業務委託料		８千円	
	その他の収入		２９７千円	
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	３７,１２０千円		
	支出	人件費	２６,０６４千円	
		光熱水費	２,４２６千円	
		修繕料	４１０千円	
		備品購入費	０千円	

	消耗品費	4 0 1 千円
	施設管理委託費	6 8 9 千円
	その他経費	7,1 3 0 千円